

2007/4/2

《「産業保健おおいた」メルマガ版(HTML)》

第 28 号

**INDEX**

- ◆ TOPICS
  - 標準的な健診・保健指導プログラム（暫定版）の見直しに係る論点（1部抜粋）
- ◆ 今月の Key Word 【黄砂現象】
- ◆ 労働衛生事例
  - ・有機溶剤による中毒等（ジクロロメタン）
  - ・一酸化炭素等による中毒等
- ◆ 新着情報
  - ・新着図書のご案内
  - ・新着冊子のご案内
  - ・新着パンフレットのご案内
- ◆ 研修・セミナーのご案内（4月・5月）

◆ TOPICS

「第5回 標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会」より  
標準的な健診・保健指導プログラム（暫定版）の見直しに係る論点（1部抜粋）

1. 健康診査の項目について

(1) 血糖検査について

- 空腹時における採血を原則としたとしても、確実に空腹時に採血が行われない場合があるなど、通常の血糖検査だけでは把握することは困難である。
  - 一方、ヘモグロビンA1cは、過去1～3ヶ月程度の平均血糖値を反映しており、採血の前日や当日の食事の摂取に影響を受けないため、糖尿病の疑いがある者を把握する上で有用であると考えられる。
  - ただし、ヘモグロビンA1c検査は高価であり、健康診査費用を考慮した場合、必ずしも両方の検査を実施する必要はないのではないか。
  - 以上のことから、血糖検査として、ヘモグロビンA1c検査を実施することが望ましく、ヘモグロビンA1c検査を実施した場合には、必ずしも通常の血糖検査を実施する必要はないのではないか。
  - ヘモグロビンA1c検査を実施しない場合には、確実に空腹時に採血を行えるよう受診者に空腹時での健診受診を徹底すべきではないか。
- …後略…

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/02/s0219-4.html>（厚生労働省ホームページより）

◆ 今月の Key Word【黄砂現象】

黄砂現象とは、東アジアの砂漠域(ゴビ砂漠、タクラマカン砂漠など)や黄土地帯から強風により大気中に舞い上がった黄砂粒子が浮遊しつつ降下する現象を指します。日本における黄砂現象は、春に観測されることが多く、時には空が黄褐色に煙ることがあります。

黄砂現象発生の有無や黄砂の飛来量は、発生域の強風の程度に加えて、地表面の状態(植生、積雪の有無、土壌水分量、地表面の土壌粒径など)や上空の風の状態によって大きく左右されます。黄砂粒子はいったん大気中に舞い上がると、比較的大きな粒子(粒径が10マイクロメートル以上〔1マイクロメートル=0.001mm〕)は重力によって速やかに落下しますが、小さな粒子(粒径が数マイクロメートル以下)は上空の風によって遠くまで運ばれます。

例えば、東アジアが起源の黄砂粒子が太平洋を横断し、北米やグリーンランドへ輸送されたことも報告されています。

…後略…

黄砂に関する基礎知識(気象庁ホームページより)

<http://www.data.kishou.go.jp/obs-env/kosahp/4-4kosa.html>

---

## ◆ 労働衛生事例

---

労働衛生事例(2例—平成17年—)

《例1》有機溶剤による中毒等

・ジクロロメタン

【業種】

金属製品製造業

【発生月】

4月

【被災者数】

中毒1名

【発生状況】

作業場内にて、内径1.11m、高さ1.115mの円筒状の真空装置部品の内壁の洗浄作業を被災者がジクロロメタンを主成分とする洗浄液を用いて行っていた際に、ジクロロメタンを吸入したものの。当該作業時において、被災者は呼吸用保護具を着用していなかった。また、当該事業主が被災者に対して有機溶剤に対する安全衛生教育を実施しておらず、当該作業に係る作業手順を示していなかった。

【発生原因等】

- ・危険有害性の認識不足
- ・局所排気装置未設置
- ・安全衛生教育未実施
- ・作業主任者未選任
- ・呼吸用保護具未着用

---

《例2》一酸化炭素等による中毒等

・一酸化炭素

【業種】

鉄鋼業

【発生月】

4月

【被災者数】

死亡 1名

【発生状況】

製鉄所構内の転炉ガスホルダー付近において一酸化炭素の漏洩が検出されたため、点検作業を行っていた作業員2名のうち1名が一酸化炭素を吸入し、搬送先の病院で死亡した。

当該点検作業において、被災者らは呼吸用保護具を着用していなかった。

【発生原因等】

・呼吸用保護具未着用

---

◆ 新着情報

新着図書

■ 産業医の職務 Q&A 第8版(産業医学振興財団)

■ 産業保健ハンドブック I 石綿関連疾患 ～予防・診断・労災補償～ 第4版(産業医学振興財団)

etc.

その他、新着図書等の情報は随時ホームページに掲載しています。

↓↓↓

<http://www.oita-sanpo.jp/kasidasi/kasidasi.htm>

新着冊子

■ 平成19年度 産業保健研修会のご案内

■ 「産業保健おおいた」春号



(主な内容)

・巻頭言

「職場のリスクアセスメントを実施しよう！」

(亀野 榮 労働安全衛生コンサルタント会大分県支部長)

・平成18年度調査研究報告

「大分県内における石綿障害防止規則施行後の土木・建築工事業の事業場の石綿対策取り組み状況について」 (田吹 光司郎 基幹相談員)

etc.

■ 「産業保健 21」 48号

どちらの冊子も当センターにて無料で配布しております。是非ご活用下さい！

新着パンフレット

■ 平成 19 年度メンタルヘルス関連セミナーのご案内（※中央労働災害防止協会主催分）

全国で開催されますメンタルヘルス関連セミナーのご案内の他、福岡会場セミナーの参加申込書もご  
ざいます。

---

◆ 研修・セミナーのご案内(4月・5月)

---

衛生管理者等研修

時間:14:00~16:00

会場:大分産業保健推進センター会議室

---

▼4月20日(金)

石綿ショックに学ぶ企業等のリスク管理ー衛生管理者のかかわり方ー 吉良 一樹(基幹相談員)

▼4月24日(火)

労働衛生行政の動向 安倍 正之(大分労働局労働基準部安全衛生課長)

▽5月14日(月)

衛生管理者としての健診事後措置・保健指導の進め方 青木 一雄(基幹相談員)

▽5月22日(火)

自殺の危険への対応の実際 第二次予防 インターベンション 渡嘉敷 新典(基幹相談員)

---

産業医研修

時間:18:30~20:30

---

▼4月27日(金)

会場:大分産業保健推進センター 会議室

※ 出席者多数の場合は会場を変更させていただく場合がございます。御了承下さい。

職場のメンタルヘルス 寺尾 岳(特別相談員)

☆基礎/後期2 生涯/専門2

▽5月12日(土)

会場:大分県南地域産業保健センター(佐伯市医師会内) HPは[こちら](#)です

呼吸用保護具の管理についてーフィットテスターによる洩れチェックー 田吹 光司郎(基幹相談員)

この産業医研修は、実地研修となります。つきましては、受け入れ事業場の事情により、  
申込順 30名で締め切らせていただきますので、ご了承下さい。

(県南地域産業保健センターから事業場への移動は、マイクロバスを予定しております)

☆基礎/実地2 生涯/実地2

▽5月18日(金)

会場:大分県中部地域産業保健センター(別府市医師会内) HPは[こちら](#)です

